

切り絵ワークショップ
切ってつくるモンタージュの世界

「中村宏展」では、浜松市出身で日本の戦後美術を代表する画家、中村宏の作品と関連資料を一堂に展示します。約70年間にわたる制作活動の中で、中村宏は1950年代にはエイゼンシュテインのモンタージュ理論を取り入れて制作しました。

本講座では、切り絵と写真と色紙を組み合わせて作品をつくります。展覧会を鑑賞した後、実技室にて写真を切り取り、お好きな色の紙の上に貼ります。写真のまわりに、写真と関係するものや無関係なもの、様々なものを切って貼って組み合わせて、新たな意味や感情や物語性を表現することに試みます。

モンタージュとは

複数の異なる要素を組み合わせることによって、新たな関係性を生み出し、意味や感情等を強調する表現技法です。

中村宏氏の
インタビュー
動画はこちら



2月14日(土)・15日(日)

※各日3時間の講座です。どちらかのお日にちをお選びください。

時 間 各日 13:00~16:00

場 所 静岡県立美術館・実技室

対 象 中学生以上の個人

定 員 各日 24名

材料費 500円程度

※ワークショップ中に展覧会を鑑賞しますので、別途、観覧料が必要になります。

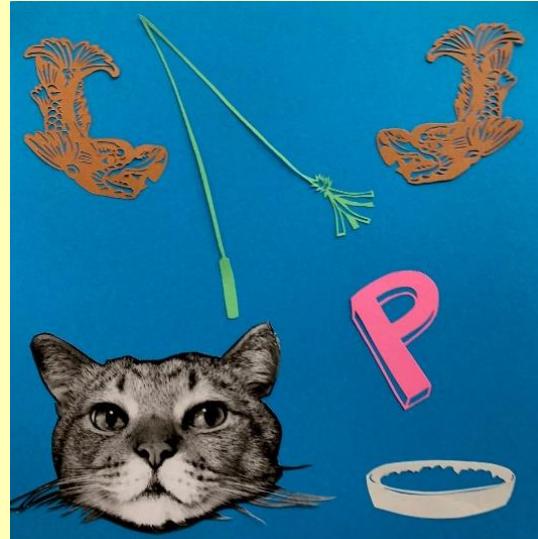
観覧料 一般 1,400円/70歳以上 700円/大学生以下無料

持ち物

筆記用具、使い慣れたカッター・はさみ(お持ちの方のみ)

写真をコピー用紙に白黒印刷したもの(人物・生きもの等、作品に入れたいもの)

エプロンや作業着など造形活動しやすい服装でお越しください。



参考作品：福井 利佐 氏



講師 福井 利佐 (切り絵アーティスト)

1975年、静岡県出身。東京在住の切り絵アーティスト。精緻な観察による描写のきめ細やかさと大胆な構図で、観る者を圧倒するような生命力のある線の世界を描き出す。Reebokとのコラボレーションスニーカーや桐野夏生氏の小説への挿画や装丁など、多方面で活躍中。雑誌「婦人画報」表紙の切り絵や、宝生流和の会のメインビジュアル制作、NHK短編小説集「グッド・バイ」の映像制作、NHK BS「猫のしっぽ カエルの手」オープニングタイトル制作、「藝人春秋」(水道橋博士著)表紙絵制作などがある。2016年、めぐるアート静岡参加(静岡県立美術館)。2019年福音館書店「かがくのとも」からの初の絵本「むしたちのおとのせかい」、2022年11月号「からまつーふじさん」にもりをつくるきー、2025年8月号「みずたまりといきもの」刊行。2021年4月名古屋松坂屋美術館を皮切りに全国を巡回する「サンリオ展」にアーティスト作品で参加。2024年から静岡コンベンション&アーツセンター「グランシップ」の季刊誌「GRANSHIP」の表紙を担当。福井利佐公式サイト <http://www.risafukui.jp/>

●お申込み・お問合せ先●

下記のいずれかの方法でお申し込みください。
定員を超えた場合は抽選となります。

●FAX ●郵送

●実技室ポストに投函 ●WEBから申込む

静岡県立美術館 HPアドレス：<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2 TEL:054-263-5857 FAX:054-263-5742

※共催 静岡県立美術館友の会

申込受付期間：1/16(金)～1/24(土)必着

抽選結果：1/28(水)以降、メールまたはお電話にて

抽選結果を順次お知らせいたします。

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった場合は、以後、先着順にて受付いたします。



WEB申込みはこちら

お申込み用紙

実技講座

切り絵ワークショップ 切ってつくるモンタージュの世界

2月14日(土)・15日(日)

※どちらかのお日にちをお選びください。

フリガナ
お名前

(中・高・大) 年生・一般・70歳以上

メールアドレス

@

TEL

— —

連絡のつきやすい時間帯

時頃

参加ご希望日

(どちらかに○を付けてください)

2月14日(土)

2月15日(日)

※定員を超えた場合は抽選となります。※ご記入いただいた個人情報は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。